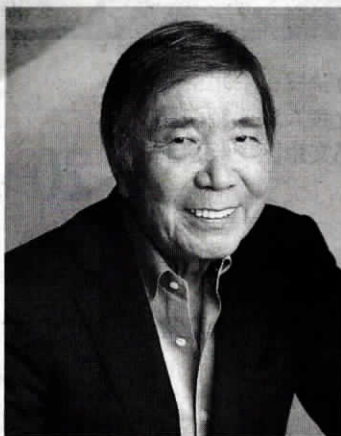


## 会う人みなファンに

ジュンアシダのショーは別格だった。数十カ国に及ぶ大使や大使夫人が客席にずらりと並び、世界基準の極上のエレガンスを見せてくれた。

雲上人のようなデザイナーとしてあがめていたので、10年ほど前、新聞連載していたコラムを目に留めてくださり、「ぜひジュンアシダ広報誌に執筆を」と依頼を受けた



ジュンアシダ提供

### あしだ じゅん 芦田 淳さん ファッションデザイナー

肺炎のため 10月20日死去・88歳

時には、光栄を通り越して驚いた。朝8時に受けた電話から「芦田淳でございます」というお声が聞こえた時は誰かがからかっているのかと思っただ。その後も先生の方からお礼を伝えてくださる時には、朝8時に電話がかかるのだが、つまり、その時間には既に仕事の態勢に入っていたのだ。

会社に飾られる絵画は5、6傾いていても直すほどの厳格な美意識の持ち主にして、こうしたいと思ったらすぐ行動し、伝えたいと思ったら率直に言う直情型。やんちゃで豪放にも見えるけれど、真心からの言動は心を打ち、会う人みんながファンになった。交友関係は広く、奥様の友子さ

んどの金婚式では都倉俊一さんが夫妻に「君にありがとう」の歌を贈り、多くの著名人が涙した。歌はつるの剛士さんが歌い継いでいる。

レガシーは「タエアシダ」ブランドを手がける次女の多恵さんが受け継ぎ、彼女の夫が会社としてのジュンアシダを継ぐ。幸福な継承である。公私にわたりこれほどの幸

せもないほどの完璧な人生だったのではないか。その幸運は、真摯で情熱的な仕事ぶり、そしてファミリーや顧客との信頼関係から必然的にもたらされたものだ。エレガンスは日々の生活から生まれる骨太なものなのだ、語らずとも教えてもらった。

(服飾史家・中野香織)